

いわき農林水産ニュース

(ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース)



1月号 発行 平成28年1月28日



いわき市中央卸売市場 初市式が開催されました！

1月4日(月)～5日(火)、いわき市中央卸売市場において、今年初の競りが行われました。

初競りに先立ち、4日(月)は花き部、5日(火)は水産物部、関連事業者及び青果部において初市式が開催されました。清水いわき市長があいさつ、根本市議会議長が祝辞を述べ、参加者全員で3本締めをして、市場活性化や関係者の益々の発展を祈念しました。

青果部では投げ餅が振る舞われ、その後、ミカンやリンゴ、カブ・ブロッコリー、きのこ等で盛られた縁起物の宝船が競りにかけられ、次々と競り落とされていきました。

また、当日は、いわき市産農産物のPRとして「いわきねぎ」の豚汁、いわき産コシヒカリ「いわきライキ」のおにぎりが来場者に振る舞われ、おいしいと好評を得ていました。



(縁起物の野菜等が乗った宝船)



(投げ餅の様子)
(農業振興普及部)



平成28年平木材市場 「初市」が開催されました！

1月14日(木)、いわき市内郷綴町の(株)平木材市場において、平成28年「初市」が開催されました。

「初市」には、買方組合や荷主組合の会員をはじめとした林業・木材関係者など、約100名が参集しました。

はじめに、齋藤平木材市場社長、滝口買方組合理事長、藤田荷主組合理事長による新春のあいさつの後、今年一年の林業・木材産業の発展と取引の活性化を祈念して、参加者全員で乾杯を行いました。

市場内には、年末年始にかけて県内を中心に集められた素材約3,600m³と、製材品約1,500m³が所狭しと並べられ、今年最初の競りにかけられました。

冬の時期は、材の中の水分が少なくなり、良質材が出てくることが多いため、いわき市内や県内外から集まった買方は、熱心に競りに参加していました。



(齋藤社長挨拶)



(初競りの様子)
(森林林業部)

平成28年試験操業初水揚げ！

1月13日（水）、小名浜魚市場において、いわき地区における試験操業の初水揚げが行われました。

当日は、10トン以上の底びき網船14隻と船びき網船8隻が出漁し、底びき網では、ヤナギムシガレイ（ヤナギガレイ）やキチジ、マガレイなど、船びき網では、イシカワシラウオ、サヨリが水揚げされ、合計で約1.2トンとなりました。

14日（木）には、10トン未満の底びき網船や船びき網、カゴ、さし網船により、約1.2トンの水揚げがありました。

水揚げされた魚介類は、主に福島、郡山、会津若松、いわき、相馬など県内の消費地市場に出荷されました。



（市場での計量作業）



（水揚げされたキチジ）

（水産事務所）



久之浜地区における漁船の出初め式！

1月8日（金）、久之浜漁港の市場において、いわき市漁協久之浜支所の出初め式が行われました。

式には、久之浜支所所属の船頭約30名と漁協職員が参加しました。神職が祝詞を奏上し、漁船と船頭へのお祓いをした後、底びき船を先頭に全船が出港し、「明神様」と呼ばれる久之浜沖にある岩礁の周りを1周しました。

神事は、震災以降も継続していました

が、震災から約5年が経過し、少しずつでも震災前に戻していこうという意見が多く聞かれたため、震災後初めての出船となりました。



（神事の様子）

（水産事務所）

いわき農業青年クラブ連絡協議会が「ふれあい農園収穫祭」を開催！

12月12日（土）、高久公民館において、いわき農業青年クラブ連絡協議会主催による「ふれあい農園収穫祭」が開催されました。

本協議会は、野菜づくりを通して市民に農業への関心と理解を深めていただくため、一般消費者を対象とした市民農園「ふれあい農園」を開催しており、今年度は8家族が参加しています。

収穫祭では、農園参加者が自ら栽培・収穫した野菜を全員に紹介し、栽培中に苦労したエピソードや収穫の喜びを話しました。その話を受けて、クラブ会員は、自分たちの感じる農業の楽しさを話し、参加者と農業への熱意を共有しました。

その後、収穫した野菜を全員で調理し、会食を行いました。豚汁や春菊のおひたし、チンゲンサイとベーコンの炒め物、ヤーコンとニンジンのかんぴら、ハヤトウリの漬け物などの料理が並び、農園参加者は、自らの栽培した野菜の美味しさを味わうとともに、クラブ会員と交流を深めていました。



（農園参加者が自慢の野菜を紹介）

（農業振興普及部）

6次化商品開発モニター調査を実施しました！

1月14日（木）、県いわき合同庁舎において、「地域特産品創出事業」で開発中のいわき市産の農産物（イチジク、ユズ）を利用したケーキなど7品の6次化商品のモニター調査を実施しました。

この調査は、性別や年代に偏りがないように選定された参加者に、開発中の商品を試食して意見をお聞きし、その意見を参考に商品の改良・ブラッシュアップを図ることが目的です。

モニター調査は、いわき地方振興局、水産事務所、いわき農林事務所職員50名が参加し、一品ずつ商品を試食し、見た目の印象や素材の風味、食感などの感想を調査用紙に記入しました。

今後は、この調査結果を取りまとめ、商品開発に役立てていくこととしています。



（モニター調査の様子）

商品名	①イチジクベーグル	②イチジクパイ	③イチジクバイクドチーズ	④イチジクチーズ
写真				
一次加工品	イチジク乾燥チップ	イチジク乾燥チップ	イチジク乾燥/パウダー	イチジク乾燥チップ
詳細	チョコ・ココアを練りこんだ生地の中に、ラム酒漬けにしたイチジクチップとクルミを詰めて焼成。	シロップでもどしたイチジクチップを餡と合わせて、パイで包み焼成。上にクルミをトッピングした。	イチジク/パウダーをクリームチーズ生地と合わせて焼成。チップを上に乗せてトッピングした。	イチジクチップをシロップで2日間もどした後、適度にカットし、チーズ生地と合わせて焼成。もどしたイチジクを上に乗せてトッピングした。
商品名	⑤ユズベーグル	⑥イチジクとユズのブラウニー	⑦ユズのスコーン	
写真				
一次加工品	ユズ乾燥チップ・パウダー	イチジク・ユズ乾燥チップ	ユズ乾燥チップ・パウダー	
詳細	ユズ/パウダーを練りこんだ生地の中に、ユズチップからできたユズシヤムと、クリームチーズを詰めて焼成。	シロップでもどしたユズ・イチジクのチップをチョコレートと配合したブラウニーの生地と合わせて、焼成。スティック状にカットした。	スコーン生地/パウダーと、シロップで煮詰めてもどしたチップを配合し、焼成。	

（試作中の6次化商品7品）

（企画部）

第2回郷土食・伝統食料理試食体験を実施しました！

12月5日（土）、いわき市中央台公民館において、いわき地区生活研究グループ連絡協議会主催による郷土食・伝統食料理試食体験が開催されました。

本協議会は、豊かで住みよい農村生活を築くことを目的にした、いわき市内の女性農業者のグループです。今回は、市内の農家で昔から作られている料理を若い世代に伝承するため、一般消費者（親子）を対象に開催しました。

当日は、市内在住の11組34名の親子が、生活研究グループ員の指導のもと、豆腐餅やじゅうねん餅など、様々なもち料理に取り組みました。

参加した子供達は、「美味しかった」、「また食べてみたい」等と伝統食に興味をもった様子でした。特に、普段食べたことのない、つきたての餅のやわらかさや、「じゅうねん」のおいしさに感動していました。

指導に当たった生活研究グループ員達は、自分たちにとっては当たり前の料理を、若い世代の親子が新鮮なものに感じている様子を目にして、地元の農産物を使った郷土食・伝統食継承の必要性を更に強く感じていたようでした。



（生活研究グループ員とじゅうねん餅作りに取り組む親子）



（参加者全員で記念撮影）

（農業振興普及部）



平成27年度 第3回「いわき野菜deベジスイーツ」を開催！

12月20日（日）、この秋新しくオープンしたJAいわき市ファーマーズマーケット「いがっぺ」の主催（後援：福島県いわき農林事務所、いわき市見せる課、協賛：野菜ソムリエコミュニティ福島）で、今年度は第3回となるいわき市産の野菜を使ったスイーツ作り体験「いわき野菜deベジスイーツ」が開催されました。

当日は、生産者も含め総勢30名が参加し、大盛況となりました。

講師を務められた野菜ソムリエの木下麻美さんから、当日のスイーツ作りに使用する野菜のマメ知識をお聞きしたあと、「クリスマス」をテーマにしたスイーツ作りに取り組みました。

スイーツのメニューは、（1）いちごとにんじんクリームロールケーキ、（2）3種（いちご、かぼちゃ、小松菜とじゅうねん）のクッキー、（3）いちごのサンタクロースでした。この他にも、事前に講師の先生方が作ってきたスイーツを併せて7種類を参加者全員で味わいました。

参加した親子からは、「にんじんは今まで食べれなかったけど初めて子供が自らにんじんチップを食べているのを見て嬉しかった」、「小松菜とじゅうねんの彩りがきれい」、「お野菜のペーストでカラフルで簡単に色々なお菓子を作ることができるんだ」と多くの感想がありました。

次回は、2月7日（日）に「バレンタイン」をテーマに開催される予定です。



（楽しくデコレーション）



（全員集合）

（農業振興普及部）

カジキグルメ実行委員会が「フード・アクション・ニッポンアワード2015」の表彰を報告！

12月15日（火）、カジキグルメ実行委員会が、「フード・アクション・ニッポンアワード2015」の食文化・普及啓発部門における優秀賞の受賞をいわき市長に報告しました。

同アワードは、国産農林水産物の消費拡大に寄与する事業者・団体等の優れた取組を表彰し、全国に発信することにより、事業者・団体等によるさらなる取組を促進することを目的としています。

同委員会は、これまで「カジキグルメサミット」や「カジキ料理コンテスト」等、様々な取組を実施しており、今回の受賞は、それらの取組が評価されたものです。



（カジキグルメサミット2015の様子）



（表彰状）

（いわき地方振興局）



いわき地方の農林水産物 モニタリング検査結果

農林畜産物の検査結果

福島県が行った、いわき地方の12月の農林畜産物の放射性物質モニタリング検査結果(表1)をお知らせします。

(表1) 農林畜産物の検査結果(12月末現在)

1点も検出されなかった品目と検体数	検体の一部が検出された品目と検体数			計
8品目	3品目(※1)			11品目
	検出限界値以下の検体	基準値内で検出された検体	基準値超過で検出された検体	
21検体	46検体	7検体	0検体	74検体

※1:大豆、小豆、秋そば

検査した11品目74検体のうち、8品目21検体において、放射性セシウムが検査機器の検出限界値以下でした。内訳は(表2)のとおりです。

(表2) 1点も放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数

ミツバ(施設) 1、ブロッコリー 1、キャベツ 1、イチゴ(施設) 2、菌床しいたけ(施設) 4、菌床なめこ(施設) 3、牛肉 5、原乳 4

なお、大豆、小豆、秋そばについては、それぞれ5検体、1検体、1検体に100ベクレル/kg以下の放射性セシウムが検出されました。内訳は(表3)のとおりです。

(表3) 基準値内で検出された品目と検体数

品名	検体数	内訳	
		100Bq以下	検出限界値以下
大豆	27	5(6.6Bq/kg)	22
小豆	24	1(4.9Bq/kg)	23
秋そば	2	1(12Bq/kg)	1

12月31日現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が制限されているのは、(表4)のとおりです。

(表4) 出荷制限及び出荷自粛品目(12月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限 (7品目)	野菜・根菜・芋類	—
	果物	—
	穀類	—
	山菜	たけのこ、ぜんまい、わらび、こしあぶら、たらめ(野生のものに限る)
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ
畜産物	—	
出荷自粛 (1品目)	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

(企画部)

「大豆・小豆・そばの穀類は、出荷・販売前に必ず放射性物質モニタリング検査の結果を確認しましょう!」

大豆、小豆、そばなどの穀類は、県による放射性物質モニタリング検査を産年ごと旧市町村ごとに実施しており、検査の結果、出荷可能と判断されて初めて販売できます。

詳しくは、福島県水田畑作課のホームページで確認するか、当所までお問合せください。

○水田畑作課ホームページ

平成27年産穀類のモニタリング検査の旧市町村別進捗状況

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035b/daishinsai-kokurui-monitoring-shinchoku-27.html>

○問い合わせ先

いわき農林事務所農業振興普及部
電話:0246-24-6161

平成27年産米の全袋検査結果

平成27年産米の全袋検査は、12月末までの検査点数531,148点のうち、99.99%の531,077点が測定機器の測定下限値未満、71点が基準値内で検出が確認されましたが、基準値を超過したものはありませんでした。

玄米(平成27年産)検査状況(12月末現在)

測定値区分 (単位: Bq/kg)	測定下限値 未満(<25)	25 ~ 50	51 ~ 75	76 ~ 100	100 以上	計
検査点数 (点)	531,077	70	1	—	—	531,148
割合 (%)	99.99	0.01	0.00	—	—	100.00

(1月4日付け 水田畑作課HPにより確認)

調査結果は、福島県のホームページ「ふくしま新発売。」の農林水産物モニタリング情報、平成27年産米については、「ふくしまの恵み安全対策協議会」で簡単に検索できますので、結果をご確認ください。

(企画部)



海産魚介類の検査結果

福島県沖で採取された海産魚介類への放射能の影響は、時間の経過とともに着実に低下しています。

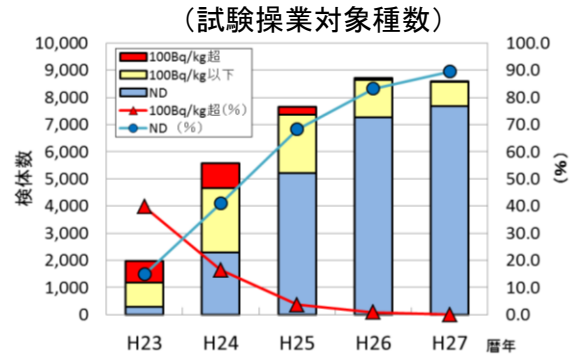
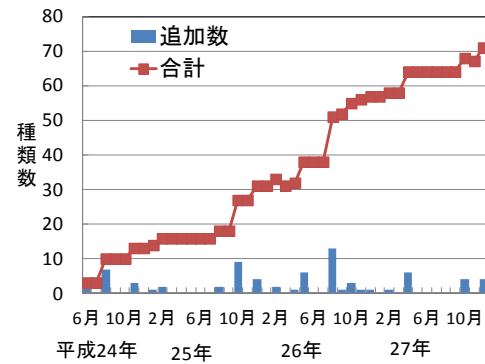
平成27年1～12月までに放射性セシウムの食品としての基準値100Bq/kgを超えたものは4検体で、全体の0.05%でした。

なお、平成27年3月7日以降に採取された海産魚介類で基準値の100Bq/kgを超えたものはありませんでした。

現在は、モニタリング検査結果により、安全が確認された魚介類71種類を対象に試験操業が行われています。

(平成23年以降のモニタリング検体数と放射性セシウム検出の割合)

年		100Bq/kg超	100Bq/kg以下	不検出	計
H23	検体数	785	893	294	1,972
	割合(%)	39.8	45.3	14.9	100.0
H24	検体数	921	2,372	2,287	5,580
	割合(%)	16.5	42.5	41.0	100.0
H25	検体数	280	2,147	5,214	7,641
	割合(%)	3.7	28.1	68.2	100.0
H26	検体数	75	1,387	7,260	8,722
	割合(%)	0.9	15.9	83.2	100.0
H27	検体数	4	896	7,677	8,577
	割合(%)	0.05	10.4	89.5	100.0
計	検体数	2,065	7,695	22,732	32,492
	割合(%)	6.4	23.7	70.0	100.0



(水産事務所)

いわきの情報をお知らせします！

福島県いわき農林事務所

いわき市平字梅本15番地(福島県いわき合同庁舎3F)
TEL.0246-24-6197 FAX.0246-24-6196

mail kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/

🔍 いわき農林事務所

🔍 検索

「いわきの特産
「いわきねぎ」を
ご紹介します！」



いわき市におけるねぎの歴史と栽培状況

いわき市のねぎ栽培は、100年以上前の明治時代初め頃から始まったと言われています。

ねぎは、収穫時期によって「春ねぎ(4～6月)」、「夏秋ねぎ(8～10月)」、「秋冬ねぎ(11～3月)」と呼ばれ、ほぼ1年中栽培・出荷されており、特に「秋冬ねぎ」が盛んに栽培されています。

市内の栽培状況は、海沿いの北部(大浦、草野、夏井、高久)と南部(錦、植田、山田)の地区を中心に作付されており、冬場の積雪や地面が凍ることが少ないため、いわき市は県内一のねぎの産地となっています。

「いわきねぎ」の特徴

「いわきねぎ」は、つややかで白い部分が長く、香り高い点と、柔らかくほんのりとした甘味がある点を兼ね備えています。「いわきねぎ」と呼ばれるものは、白い部分の長さが一定以上であるといった規格(白い部分が、冬場は30cm以上、夏場は25cm以上あること)をクリアした良質なものだけであり、首都圏へも出荷されています。

市内では、スーパーや直売所等で購入できますので、旬なこの時期に「いわきねぎ」を味わってみてはいかがでしょうか。

食彩ふくしま地産地消推進店のメニューの紹介

地産地消推進日(2月は8日(月))に合わせ、いわき農林事務所に情報提供のあった食彩ふくしま地産地消推進店のメニューを紹介しますので、ぜひご賞味ください。
 なお、店舗の都合により内容は変更される場合がありますのでご了承ください。
 また、営業日(メニューの実施日)については、事前にご確認ください。

○ 北の屋そばや(植田町本町1-10-1)

- ・地産地消メニュー: 鶏ごぼうそば・うどん、天なべ定食、天ぷらごはん
- ・説明: 食物繊維が多いごぼうやねぎ、白菜が入った鶏ごぼうそば・うどん等、いわきの野菜をできるだけ多く使用しています。
- ・店舗の電話番号: 0246-62-4752



(天なべ定食)



○ エル・トマ(鹿島町久保2-2-8)

- ・地産地消メニュー: 市場直送 鮮魚のグリル
- ・説明: 常磐沖で獲れたメカジキを使ってメカジキのグリル エスカルゴソースを提供します(市場直送のため、地産地消推進日前の水揚げ状況によっては魚種が異なる場合があります。)
- ・店舗の電話番号: 0246-58-5969



(メカジキのグリル エスカルゴソース)



いわき農林事務所からのお知らせ

○ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報
 - (1) モニタリング情報検索
 - (2) 出荷制限等一覧表

「東日本大震災」
 及び「原発事故」からの
 復興のために!



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
 福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
 〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
 (県いわき合同庁舎 3階)
 T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196
 U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース